



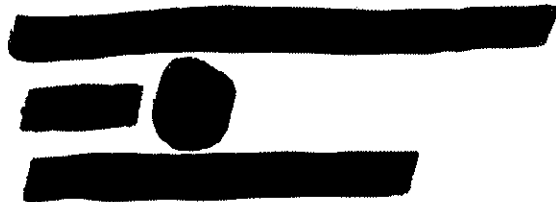
陳情27第2号

2015年1月29日

つくば市議会議長 様

総合運動公園の建設に関するパブリックコメントへの応募した内容の紹介について
の、陳情書

陳情者



○陳情趣旨

A:

平成27年1月23日

12時51分

総合運動場に関するパブリックコメントへの応募。

1、

土浦市との単一市への合併の賛否はともかく、

運動場を、土浦市と作るのか、つくば市だけで作るのか、まず、それを決めるのが先だ
と思います。

つくば市だけでやると先走っているのは、問題だと思います。

URが広大な土地売却に期限を設けるのは、よその機関の都合があるので、しょうがない。

購入区域と価格が適切だったかどうかは賛否あるだろうが、公共が買った土地は、税金
もかからないのだから、用途は後でゆっくり決めればいい。

2、

土浦と一緒にやるなら、

今のクリーンセンター近くの候補地は、運動場にすべきでない。

穴塚の森をぶっ潰すか、その付近の田んぼを買いつめて、
高速道の桜土浦 I C から便利な場所、つくば中心と土浦中心の中間地、
あのあたりに、競技場は作るべき。

クリーンセンター近くの候補地は、穴塚の代替で、森と池のある自然公園にでもすればいい。

土浦市中央部の自然好き市民のためには、土浦市が、やはり土浦中央から北か南にバスで行ける別の田園地に、別の森池公園を作ってやればいい。

バブル経済期なら、先に施設を作って、後で鉄道を誘致する、も通用した。

今は、TX が伸びてくれるか、まったく保証が無い。

TX が伸びてくれなければ、

現候補地は、つくば市民と、せいぜい下妻・新治・石岡西部市民しか利用しない不便な立地になるのだから、運動場は、本当に最低限の市内不足分だけで、いい。

だから、県南の中核の運動場を作りたいなら、

穴塚の森を潰すか、その近くの田園地を潰して、

そこに、土浦市と協働で、運動場を作るべきである。

乙戸沼公園を潰す案もありますが、立地は穴塚の2の次であり、
また、川の源流なので、水害が発生しないかを調べる必要があります。


1月22日の常陽新聞にも、土浦市が運動場が無くて困っている、と書いてあります

交通の便が良い場所に作るなら、
比較的高性能で多種類の運動場を作っても、無駄な投資にならない。

県からの補助も、想定できうる。

以上のように、
運動場の候補地の選定から、見直すべきであると、思います。

B ;

平成27年1月26日


3、

宍塚の区会の人達のためには、区会の人口に見合った、小公園と親水広場を、宍塚に作ってあげればいい。

大池は埋め立てるか縮小させて、周辺の土地で運動場が足りるなら、残してもいい。

自然保護団体は騒ぐだろうが、オオタカは、筑波山の山塊部や、周辺の田舎市町村の里山にいるし、

宍塚の森がなくなっても、似た池森公園を、県南のどこかでまた作ればいいのだから、それほどの大事ではない。

所詮は、天然林ではない、2次植生。

別の場所で、同じ程度の自然は、再生できる。

4、

国体は、1周して、制度変更も議論されています。

(数年に、複数の県をまとめて、など。)

各競技施設が高度高額化した時代には、毎年1県は、費用負担が大きいようです。

1周目のときほど、熱心に関わる必要は無いと思います。

間に合いそうもなかったら、無理に作るのではなく、

市が、県にその種目を辞退することも、必要だと思います。

既存の施設のあるどこか別の自治体が、結局、引き受けると思います。

既存施設がない種目まで、市が無理して引き受けて、

後で、変な立地・不適切な建築で作った体育施設が、建設費や管理費が馬鹿にならない、

これは、絶対に避けたほうがいいと思います。

県と、キャンセルの場合も視野に入れて、早いうちから相談しておいたほうがいいと思います。

平成27年1月27日

5、

1974年の、1周目の茨城国体。

<http://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid/720/Default.aspx>

つくば市はまだ存在しません。

つくば市になる前の各町村も、どこも誘致していません。

屋内競技を誘致した市町村も、市営体育館のほかに、企業（日立）や学校体育館（常総市など）が目立ちます。

1周目で誘致した自治体は、
市営体育館を大会に合わせて建設していたなら、
同じところをまた使うか、建てかえればいいだけの話です。
立地探しをする必要は、原則はありません。

2019年の国体は、つくば市は初参加で、元の町村も1周目を誘致していなかったの
ですから、

前回誘致した自治体のように、容易にいかないと思います。

既に体育施設があって、そこに誘致する、
建設計画を長い時間をかけて練り上げて、施設が完成した頃に、たまたま国体がタイミ
ングよく開催される、
そういうわけにはいかないのですから、
無理をしてまで国体に合わせる必要は、やはり無いと思います。

つくば市、またはつくば市と土浦市、または県南部での、
平時利用のための体育施設の建設計画を充分、時間をかけて練って、
それで施設が完成した頃に、国体や国際大会の開催が回ってきたら、誘致すればいいの

です。

国体が来るから、とりあえずあわてて体育施設を建設する、

では、順序が逆だと思います。

それは1960年代から80年代までの、豊かな時代のやり方だと思います。

74年の頃でさえ、結構な数の自治体が、屋内競技を学校体育館でしのいでいます。

つくば市が、既存の施設で対応できない競技の誘致を、県にキャンセルで断ったとしても、

国が豊かだった1周目の時期に、誘致と投資を受けていなかったのだから、

その経緯を踏まえて説明すれば、全く非協力的な態度ではない、と思います。

土浦市との合併話もある現状では、

体育施設の建設を、国体の開催に間に合わせる必要は、全く無いと思います。

6、

ご存知かと思いますが、一部事務組合という制度があるようです。

市川市と浦安市は、6年前まで何十年も、一部事務組合を作って、50%ずつの支出で、公立病院を運営していたようです。（現在は、公益法人に民営化。）

また、香取市では、道の駅を、PFI方式で、国交省河川事務所や民間企業と共同に、建設したそうです。

自治体間や民間も含めて、

つくば市の公共体育施設について、

いろいろなやり方での新設運営を、ご検討なされてはいかがでしょうか？

平成27年1月27日

7、

国体だけではなくて、ラグビーW杯・オリンピックパラリンピックも、
基本的に、つくば市の体育施設新設計画からは、無視したほうがいい、と思います。

上記3つのイベントを意識しないで、

時間に追い立てられずに、平時利用として十分に練り上げた計画を作って、

それで時間的に間に合うイベントだけ、

将来、誘致すればいいと思います。

上記の3イベントは、おそらく、間に合わないイベントだと思います。

国が、つくば市の新設体育施設について、建設費と30年分の維持費を払ってくれる約束をするのであれば、

国規模や国際規模のイベントに合わせる必要は、全く無いと思います。

8、

ローカルな区会や地区の利用のための体育施設、

市域利用のための体育施設、

広域利用のための体育施設、

それぞれ、用途が違うと思います。

大穂周辺の住民にとって不足している体育施設があるなら、

急ぎの需要があるものは、現候補地の大穂地区に、新設してもよいのでは？と思います。

センター周辺から旧筑波町地区までの、複数の地区の住民の、利用ニーズとしても、

軽いもので急ぎのものは、

現候補地に、早めの建設を、してもいいと思います。

しかし、市域利用や広域利用の設備は、

合併話があるなら、やはり土浦市と話をつけるのが先だと思います。

いっしょにやらない、という結論になる可能性もありますが、そうなったとしても、まずは協議のプロセスを踏むことは、必要だと思います。

スポーツ施設だけ、牛久市と組んで、ひたち野うしく駅との間に作るという、別案も、ありえます。

高速道のICも、桜土浦だけではなく、周辺にいくつかあります。

最適地に煮詰めていくのは、時間がかかると思います。

結局、

ひとつふたつ、どこかを選んで、市域や広域利用の、大運動施設を作って、
周辺は、区会や地区利用としての、衛星の小運動施設を、維持や新設することになると
思います。

現時点でわかることとして、

国が財務を保障してくれるわけでもない、大型イベントに、

時間的に無理をしてあわせて、拙速に走るのだけは、

止めたほうがいいと思います。

平成27年1月28日

8、

国体に関しては、

1974年に1周目を誘致した県内自治体や、

それで足りなければ、宇都宮市・柏市・銚子市・いわき市が、

つくば市が既存の施設で誘致できない競技を、引き受けてくれると思います。

早い時期にキャンセルしておけば、後は、県がやる仕事です。

スポーツ誘致に関しては、

85年の学園都市からですら、最低限以上の投資は受けてこなかった、新参自治体なのだから、

無理はしないでいいと思います。

オリンピックや世界ラグビーは、

主催団体公式のスポーツ交流・学術・国際文化のイベントがあれば、それらスポーツ交流・学術・国際文化のイベントの誘致、

特に無ければ、便乗の観光客誘致を考えたほうが、いいと思います。

9、

資材価格の高騰は、今の時期に積極投資を避けたほうがいい理由になります。

市川市は、本庁舎の耐震対策を軽視していて、東日本大震災を迎えました。

3分の2前後の本庁舎が、I s 値で、一般建築としての安全基準以下でした。

庁舎は壊れなかったものの、

震災後に、あわてて建て替え計画を練り、

オリンピックも決まって、資材価格が高騰した最悪のタイミングで、

予算を積み上げて、発注せざるを得ない状況に、なっています。

しかし、本庁舎の耐震ですから、先延ばしができないので、涙を吞んでいるのが現状です。

つくば市は、本庁舎ではないのですから、無理をする必要は、全く無いと思います。

急ぎの施設以外は、オリンピック後に価格が下がってから、発注すればいいのです。

大穂の候補地では、

緊急に足りない施設だけ、

敷地の一部を切り開いて、スタンドや照明は後回しにして、フィールドだけ作れば、

資材はたいして使わないですむ、と思います。

オリンピックまでは、地元の市民が、週末の昼間、晴れ曇りの日に、使うフィールドだけで、充分だと思います。

観客を集める商業用途ではない、住民自身がプレイヤーのスポーツの場として。

これですら、資材だけではなく、土木人件費の動向にも影響されるので、地元の土建労力だけでできない内容になると、時期や工期を調整する必要が、出てきます。

――

プールは、人口が増えれば、基本なので、あっても無駄だとは思いませんが、近い場所に複数ある必要があるのか、とは思います。

クリーンセンターと、近すぎます。

作るとしても、実家や研究学園です。

熱を作る費用を考えれば、熱の見込みが別途ないなら、クリーンセンターのプールを、別棟で拡充してもいいくらいです。

プールは工事が大変なら、やはりオリンピック後です。

――

建物を建てなければいけない体育館は、

そもそも立地の再検討があるし、
建設も、当然、オリンピック後です。

10、

最近出版された、JR東日本出身の塚本氏の著作には、
TXが延伸するとしたら、速度を落とさないためには、土浦真鍋を通過して、神立で常
磐線と合流になるだろう、と書いてありました。

つくばセンターと神立の間に、1駅できるだろう、とも書いてあります。

もう少しカーブもできるかもしれませんが、同じ線で大穂は、たしかに難しいだろう
と思います。

それも、あくまでTXが延伸するという、条件が整ったらの話です。

平成27年1月29日

11、

早期建設にこだわるのは、

合併債を受け取れる期限などがあるのかもしれないですが、
震災とオリンピックによる建設費の高騰を踏まえると、
市が、もっと早く5年10年前に、新設計画を作っておくべきだったか、
国が、合併債の期限を、建設事業に限って、延長するか、
どちらかだと思います。

自治体が要望しても、国が、合併債などの期限を、建設事業の範囲でも延ばしてくれないなら、

つくば市は、研究学園など基本的な新設の都市計画を抱えていて、運動公園には長年手が回らなかったのだから、

あきらめるしかないのではないのでしょうか？

国に、合併債の期限延長を要望することも、早めに時間をかけて根回ししていなければいけないことなので、

つくば市だけの責任ではないですが、他の自治体も含めて、これまでやってこなかったなら、

これからできる範囲で国に交渉してみてもいいとは思いますが、

おそらく手遅れで時間切れになる部分も、あるのではないのでしょうか？

合併債も国が国債で徴収しているの
無償に使うとはいけないと思ってる

個人事業主

地域利用のため既存計画を
時間をかけして作る。

その時に、市で足りない分は
改めて、国や国の補助を

申請した方がいいのでは

学術修士 (植物生態学)

